



タイ・バンコク初のスタジオジブリ展覧会

北陸銀行 国際部
バンコク駐在員事務所
スタッサニー・イエンヤーサン(デュー)

皆さんは、海外旅行に行く時には何が楽しみですか？

もちろん人によって答えはさまざまだと思います。私は海外旅行が自分の視野を広げてくれると考えています。そして、異文化、現地の人々の生活などを学ぶことができると思います。ですから私は「目的地を急ぐより寄り道に時間をかけるべき」と考えています。

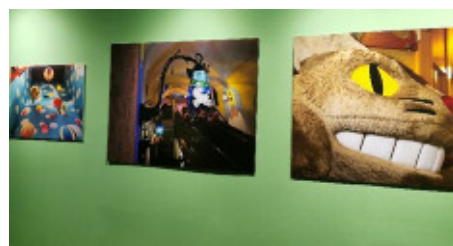
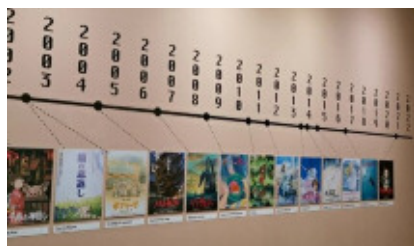
コロナ禍、自由に海外旅行ができませんが、今はインターネットなどで世界が繋がっているおかげで、どこにいても情報収集が簡単にできます。映画、ドラマ、漫画、アニメーションなどのソフトパワーも、タイの若者に大きな影響を与えており、現地の文化・生活・食品もさまざまなメディアから学ぶことができます。私も日本の文化を少しずつメディアから勉強してきました。

私は、3月中旬にセントラルワールドで開催された「My style, My Ghibli」に行きました。ユニクロタイランドとスタジオジブリのコラボレーション開催で、展覧会場ではスタジオジブリの歴史やアニメーション、タイの写真家・カンヤダさんの写真を展示していました。

カンヤダさんの写真と詩「From Pak Thong Chai」はスタジオジブリ出版の月刊小冊子『熱風』に掲載されています。他にも、写真集「ジブリ美術館ものがたり」の著者であり、「どこから来たのか どこへ行くのか ゴロウは？」の共著者でもあります（展覧会の展示情報より）。



【展示会場入口：筆者撮影】



【左：スタジオジブリの映画、右：写真展の様子(筆者撮影)】

さらに、皆さんの好きなトトロと猫バスの人形もあり、子供も大人も写真撮影に並んでいました。今回の「My style, My Ghibli」は2022年2月11日から2022年3月27日まで開催されました。スタジオジブリはタイの人々にも人気があります。私は土曜日に行きましたので、大変人が多かったです。午後4時ぐらいに着きましたが、実際に入場できたのは6時15分でした。

何年たってもスタジオジブリのアニメーションは人々の思い出に残ります。コロナが落ち着いたら日本の「となりのトトロ」に一度会いに行きたいと思います。

以上



【本物サイズのトトロと猫バス:筆者撮影】

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。
記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
((株)人材情報センター内)
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp